

## (別紙12)

## 大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	五所川原市役所・五所川原市立図書館
実習期間	令和 2 年 2 月 18 日 ～ 令和 2 年 2 月 22 日
学生氏名	松山 日和
実習プログラム	<p>五所川原市役所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座</li> <li>・介護予防教室</li> <li>・消防署、空家見学</li> </ul> <p>○市役所業務では、どうしたら空家を無くすことが出来るのか、もっとたくさんの世代に健康増進活動に興味を持ってもらい、イベントに参加してもらえるのかについて考えました。</p> <p>五所川原市立図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞セット</li> <li>・小学校図書館支援</li> <li>・相互貸借処理</li> <li>・議会だより音訳・編集</li> <li>・市のコーナー編集</li> <li>・カウンター業務</li> </ul> <p>○図書館業務では、どうしたらもっとたくさんの人に図書館を利用してもらえるのか、地元の制度やイベントをどうやって伝えるかを考えました。</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>市役所業務は、パソコンと向き合うデスクワークだけではないことに気づきました。部署によって役割は全く異なり、地域に出向き、市民と交流を行う仕事メインである職員もいるということがわかりました。</p> <p>図書館業務は、デジタル化が進む社会の中では手作業が多い職場だと思いました。また、市内の小学校図書を支えることで小学校教諭の負担を減らしていることがわかりました。障害のある方でも図書館内外で、読書を楽しめるような環境や取り組みが充実していて、市民の声に対する柔軟性が感じられました。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>どの問題も、解決策があっても実行することが出来ない事情などがあり、根本的な問題解決の難しさを実感しました。しかし、私を含めた市民の声かけ一つで変えられる部分もあることに気付くことが出来たので、今回体験して考えたことを周りの友達と共有すると共に、市役所と図書館の、それぞれの良さを伝えて行きたいです。</p>

インターンシップ  
をして気づいた、  
実習先の魅力  
(300字)

五所川原市役所は新庁舎がオープンしたばかりで、このインターンシップで初めて市役所内に入りました。従来は縦長だった造りを横長にし、1階に市民の利用が多い課を配置することで、なるべく1階で用事を済ませることが出来るような造りになっていました。また、フリースペースを設けることで、勉強や待ち合わせなどでも市役所を利用できるようになっています。

図書館は、建物自体は古いですが、館内は、一般と幼児のコーナーが分かれていたり、司書さん達の工夫などで、とても利用しやすい環境が整っていました。

写真 (1~3点)



五所川原市役所



五所川原市立図書館